

経営方針

◆ 第9次中期経営計画（令和8年度～令和10年度）

3つの経営ビジョンと取組内容

I. 持続可能な農業経営をトータルサポートするJAみやぎ仙南

持続可能な農業経営をトータルサポートするため、次のことに取り組みます。

- 地域の特性を活かした地区営農ビジョンの策定・実践を通じ、持続可能な農業・地域共生の未来づくりを進めます。
- 担い手ニーズが多様化高度化する中で、農業法人をはじめとする担い手経営体への訪問活動によりニーズへの対応強化を図ります。
- 水稻直播栽培の普及、バラ集荷・調整作業の支援、子牛の適正出荷促進、担い手直送大型規格農薬の普及、低コスト農機等の普及を通じて、省力化・コスト低減を提案します。
- 農業経営の安定化に向けた複数年買取契約や耐暑性品種導入、優良肥育素牛の導入と育成を通じた有利販売を進めます。
- めぐみ野商品への理解醸成を図り産消提携活動の推進を行います。
- 担い手経営体のニーズに応じた農業融資相談機能の発揮を図ります。

II. 各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにするJAみやぎ仙南

各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにするため、次のことに取り組みます。

- くらしを基軸とした活動による相談・提案活動やデジタル活用により、世代を問わず組合員・利用者のニーズに応えます。
- ライフプランや多様な資産ニーズに即した金融商品を提案します。
- 3Q活動により、ライフスタイルに合わせたひと・いえ・くるま・農業の総合保障、複数共済商品の提案活動を実践します。
- 葬祭事業のサービス力を強化し、管内シェア向上を図ります。
- 利用者の満足度を高める質の高い介護サービスを提案します。
- 車のトータルサポート充実を図り、安全安心カーライフを提供します。

Ⅲ. 健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長するＪＡみやぎ仙南

健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長するため、次のことに取り組みます。

- 組合員ニーズへの対応力強化に向け、総合事業として相続相談業務体制を構築します。
- 組合員・利用者から信頼される組織・業務運営の確立に向け、内部統制の構築・運用と、更なるコンプライアンス態勢強化に取り組みます。
- 人材育成成人づくり基本方針に基づき、ＪＡ事業運営・協同組合運動を支える人材の確保・育成を図ります。
- 組合員の意思反映と対話運動に取り組むとともに、支店協同活動や各種イベントを通じて関係づくりに取り組み、組織基盤の強化を図ります。
- ＪＡみやぎ仙南の広報戦略を策定して、戦略的な情報発信に取り組み、農業とＪＡの理解醸成を図ります。

◆ 経営管理体制

当ＪＡは、事業利用を目的とした農業者等により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選任された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

組合の業務執行を行う理事には、地区毎の正組合員代表者により推薦された者を候補者として提示し、総代会において選出しています。令和８年６月には役員の任期満了に伴う改選が行われ、引き続き女性役員の登用を行い、女性の声を反映する仕組みを構築しております。

さらに、信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

◆ J Aみやぎ仙南自己改革工程表

1. 自己改革実践サイクルへの取り組み

令和3年6月に閣議決定された規制改革実施計画等や、第29回 J A全国大会決議をふまえ、全国の J Aにおいて、令和4年度より自己改革実践サイクルに取り組んでいます。

自己改革実践サイクルでは、①自己改革を実践するための具体的な方針、②中長期の収支シミュレーションをふまえた経営基盤の確立・強化の取り組み、③組合員の意思反映及び事業利用の方針の3つを盛り込んだ自己改革工程表等をそれぞれの総代会で決定しています。

2. 「J Aみやぎ仙南自己改革工程表」の位置づけ

「J Aみやぎ仙南自己改革工程表」では、「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化」「経営基盤の確立・強化」に関する具体策の策定・実践に取り組んでいます。

中期経営計画とも強く関連させており、基本理念やビジョンを実現させるための戦略として重要な位置づけをしております。

3. 「J Aみやぎ仙南自己改革工程表」(抜粋)

【自己改革を実践するための具体的な方針】

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を実現するため、当 J Aでは組合員目線で必要な取り組みについて、「売上増加・コスト低減」に分類し目標の設定・実践に取り組んでいます。また、「地域の活性化」に向けては、各種イベント等を開催し「農業振興の応援団」の拡充に取り組んでいます。取り組み項目は以下のとおりです。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた活動

- 水稻直播（乾田、湛水）栽培の普及拡大
- 地域営農ビジョンによる園芸作物面積の拡大
- みやぎ仙南の仙台牛ブランドの確立
- 担い手直送大型規格農薬の普及拡大

「地域の活性化」に向けた活動

- 7地区支店協同活動
- くらしの活動
- 女性部・青年部食農教育活動

【自己改革の実践に向けた組合員の意思反映と「農業振興の応援団」について】

自己改革工程表では、訪問活動を通じた組合員との対話、各種生産部会や組合員との対話、協議の際にいただいた要望など、基本目標を達成するために取り組むべき項目として位置付けています。また、准組合員加入時アンケートや准組合員モニター制度、各種利用者アンケートの際にいただいている「地域の活性化や地域農業を応援したい」という准組合員の思いについては、「地域や地域農業の振興を後押しする存在（農業振興の応援団）」として認識しています。今後も、正・准組合員の利用状況を把握した上で、基本目標の実現に向け、正・准組合員が一体となった J A運営を行いながら地域になくてはならない J Aであり続けるため、不断の自己改革に取り組んでまいります。

【自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて】

令和7年度末におけるJ Aみやぎ仙南の販売品販売高は、前年度実績89億14百万円に対し99億79百万円となりました。

当J Aでは独自にシミュレーションを実施しており、現状のまま事業改革を進めなかった場合の今後5年間の成行きについてシミュレーションでは、事業利益の減少が懸念される結果となっております。これまで行ってきた自己改革は事業成果への貢献はあったものの、事業利益減少の要因は依然としてJ A全体の収支構造にあり、事業総利益の減少ペースが事業管理費の減少ペースを上回る見通しとなっております。

この状況を改善するため、全ての事業において事業利益の維持・拡大に向けた取り組みを進める必要があります。当J Aでは、健全で持続性のある経営を確保するため、経営基盤強化に向け一層の費用削減と収益構造の改善に取り組んでまいります。

重点目標			成果指標・目標値		
農業者の所得増大・農業生産の拡大					
水稲直播（乾田、湛水）栽培の普及拡大			令和8年度	令和9年度	令和10年度
対象者：担い手経営体や中核的担い手など		推進：コスト削減効果	目標	目標	目標
令和7年度実績	栽培面積100ha	10aあたり 17,000円	120ha	140ha	160ha
地域営農ビジョンによる園芸作物面積の拡大			令和8年度	令和9年度	令和10年度
対象者：中核的担い手や多様な担い手など		推進：売上増加効果	目標	目標	目標
令和7年度実績	主要11品目作付面積225ha	10aあたり 500千円	225ha	227ha	230ha
みやぎ仙南の仙台牛ブランドの確立			令和8年度	令和9年度	令和10年度
対象者：担い手経営体や中核的担い手など		推進：売上増加効果	目標	目標	目標
令和7年度実績	仙台牛格付率75%	筋肉1kgあたり 300円	73%	74%	75%
担い手直送大型規格農家の普及拡大			令和8年度	令和9年度	令和10年度
対象者：担い手や農業法人など		推進：コスト削減効果	目標	目標	目標
令和7年度実績	稼算額面積換算680ha	10aあたり 500円～900円	700ha	735ha	780ha
地域の活性化			令和8年度	令和9年度	令和10年度
農業従事者の応援団の拡大			目標	目標	目標
令和7年度実績	2,640人		2,000人	2,000人	2,000人

自己改革を含む事業活動への取り組みの様子は、
「第8次中期経営計画 令和7年度の取り組み状況について」でも
ご紹介させていただいております。

J Aみやぎ仙南ホームページでも公開中
<https://www.ja-miyagisennan.jp>



Check !

